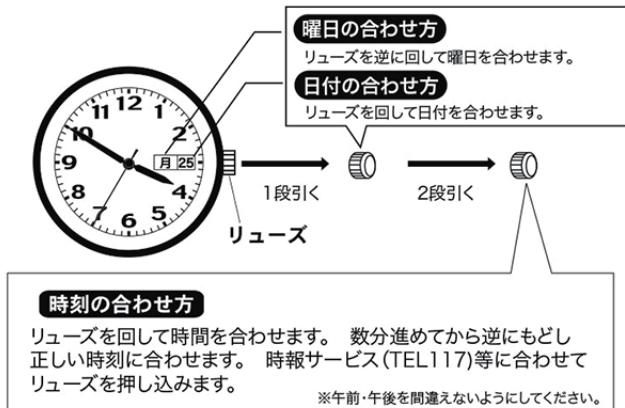


時刻の合わせ方



- ①リュースを2段階引いて針を6時～9時のいずれかの時間に一旦してください。
- ②リュースを1段階戻し日付と曜日表示を合わせたい日付と曜日の1日前に合わせてください。 ※この時に曜日表示を日本語か英語に決めます。
- ③リュースを1段階引いて、針を回し12時をすぎて日付表示が切り替わるまで針を回してください。12時をすぎて日付が切り替わった時点で午前で。
- ④リュースを回して現在時刻に合わせてください。

■ カレンダー(日付表示タイプ/日付・曜日表示タイプ)合わせのご注意

- ※日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には修正が必要です。
- ※午後10時～午前5時までは、カレンダーを手動で合わせないでください。この時間帯に合わせようとしても、日付・曜日がかわらないことがあります。
- ※曜日表示は日本語/英語切り替え式になっていますので、お好きな方を選んで使えます。
- ※曜日表示は午前2時頃～5時頃の間に表示が切り替わっていきます。その間、一時的に切り替えの為、設定していない(日本語または英語)表示になります。

太陽光発電(ソーラー)時計の機能について

本製品は、光を電気エネルギーに変えて駆動するソーラー時計です。製品の文字盤に配置されたソーラーパネルが受けた光で発電した電力を機械回路内の充電部品に充電します。定期的な電池交換は必要ありません。但し、充電部品は充電を繰り返し行うことで充電容量域が減少していきます。充電性能・稼働時間が著しく低下した段階で部品交換の為に修理お預かりが必要となりますので、弊社時計サービスセンター宛に修理をご依頼ください。

充電時間の目安

- ※製品の仕様(文字盤のデザイン・色など)によって充電時間が異なります。下記表は目安としてご参照ください。
- 充電容量が不足した時は、秒針が2秒運針します。(充電残量不足予告機能 参照)秒針が通常運針に戻った時は機能動作に必要な充電が来ています。但し、2秒運針から通常運針に戻っても充電完了となっているわけではありません。ご使用にならないときでも光の当たる場所に置き十分に充電してください。

充電時間の目安	晴天の直射日光下 およそ100,000ルクス	明るい室内照明下 およそ600ルクス以上
2秒運針の状態からフル充電まで	約10時間以上	約375時間以上
完全停止状態からフル充電まで	約40時間以上	約1500時間以上

*蛍光灯直下(20cm以内)に置いた場合でも照度環境は均一条件ではありません。上記表の時間より長い充電時間を必要とすることがあります。

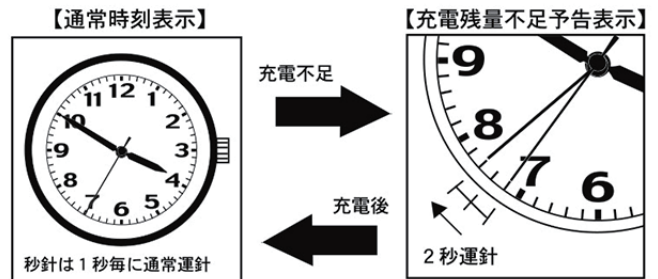
最大充電状態からの作動時間

充電部品は充電を繰り返し行うことで充電容量域が減少していきます。充電性能と作動時間はご使用状況で異なります。

最大充電容量からの連続作動時間	
フル充電後 連続作動	紳士サイズ 約6ヶ月
	婦人サイズ 約3ヶ月
フル充電後 節電モード*	紳士サイズ 約24ヶ月
	婦人サイズ 約8ヶ月

充電残量不足予告機能について

充電不足の状態になると秒針の動きが2秒間隔で不規則に進むことで充電不足を知らせます。
◎注意: 2秒運針中は秒針が正常に作動していないので、時刻が若干ずれる場合があります。
秒針が2秒運針をはじめたら文字盤のソーラーパネルに光を当て充電してください。
必要電圧が充電されると秒針は通常運針に戻ります。



充電上のご注意

充電の際に時計が高温になると故障の原因となります。高温下(40℃以上)になる場所で充電/保管することはお避けください。

(例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電、車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

白熱灯で充電するときは、照度も必要ですが必ず50cm以上離して、時計が高温にならない様に時々確認しながら充電を行ってください。

節電モードについて

光が当たらない(充電出来ない)場所で一時的に針を止め消費電力を抑える機能です。

- ①フル充電した状態からおおよそ30日間以上、光が当たらない(充電出来ない)場所に放置すると針が自動的に止まります。充電残量が少ない状態では、数日で節電機能が作動する場合があります。節電機能が作動し針を止めた時点で、時刻は止まります。回路内に時刻は記録・メモリーされません。
- ②再び光が当たると秒針が止まっていた状態から動き出しますので、リュースを引いて手で時刻/カレンダーを修正してください。光を当てても秒針が動かない場合は、作動に必要な電力が不足しているため文字盤のソーラーパネルに光を当て十分に充電してください。

⚠ ソーラー充電に関してのご注意

【時計は常に充電を心がけて下さい】

日常、長袖などを着用して時計に光の当たりにくい環境の方は、時計が充電不足になりやすいので、ご注意下さい。時計を外された際は、出来るだけ明るい場所に置くよう心がけていただくよう、おすすめします。

充電部品交換について

本製品は、光を電気エネルギーに変えて駆動するソーラー時計です。製品の文字盤に配置されたソーラーパネルが受けた光で発電した電力を機械回路内の充電部品に充電します。定期的な電池交換は必要ありません。但し、充電部品は充電を繰り返し行うことで充電容量域が減少していきます。充電性能・稼働時間が著しく低下した段階で部品交換の為に修理お預かりが必要となります。弊社時計サービスセンターに修理をご依頼ください。有償にて充電部品の交換を行います。この時計の機械・回路内充電部品は特殊な精密機械です。同等規格部品はご使用になれません。ご自身で分解修理されますと部品・機械が破損・故障の原因となります。弊社以外で時計を開閉したものとや機械内部に不当な改造をされたものは保証対象外となります。機能動作に不具合がありましたら、弊社時計サービスセンターに修理をご依頼ください。

防水について

ご購入いただいた時計の防水機能は、文字盤または裏蓋に表示してあります。

ご使用になる前に製品の防水機能をご確認の上、ご愛用ください。

表示のないものは、日常生活防水及び非防水です。

防水区分	ケースの裏ふた または文字盤にある表示	一時的にかかる水漬(洗車・雨など)	一時的に水に浸ける	水泳や水溜りなどが直接かかる	ダイビング・素潜りなど
非防水	無表示	×	×	×	×
3 BAR 日常生活防水	3BAR または WATER RESIST(ANT)3BAR	○	×	×	×
5 BAR 日常生活強化防水	5BAR または WATER RESIST(ANT)5BAR	○	○	×	×
10 BAR 日常生活強化防水	10BAR または WATER RESIST(ANT)10BAR	○	○	△	×

○WATER RESIST(ANT)はWRまたはW.Rと表示されている場合があります。

*革バンドは防水ではありません。水に濡れると劣化や変色など傷みを早めます。

*水の中、または水に濡れた状態でのリユース操作は時計内部に水が入り故障の原因となります。

■ガラスのくもりについて

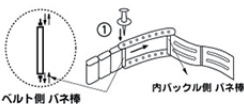
ガラスの表面に水滴がついていると、時計内部と外気との温度差により、ガラス内部にくもりが生じることがあります。すぐに消える場合は問題ありませんが、いつまでも水滴が残ると時計内部に水が侵入する場合がありますので修理が必要です。

バンドの調節について

※バンドデザインによってイラストと異なっても同様の方法で調整します。

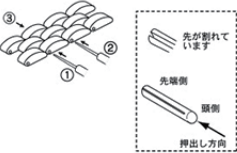
- ・ご自身で調整される場合は、お怪我の無いよう充分お気をつけ下さい。
- ・ベルトの調整が必要な場合は、最寄りご購入店、当社サービスセンターまでお問い合わせ及び修理をご依頼下さい。

バックル式バンドの調整



- ①先端の細い金具を使いベルト側のパネ棒を押さええます。
- ②ベルトを手前にスライドさせバックルから外します。この時、パネ棒が飛び出さないよう、注意して下さい。
- ③ベルトを適切な位置で固定して下さい。

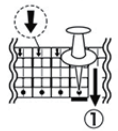
ヘアピンタイプの調整



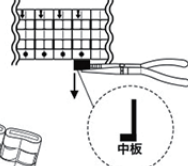
- ①先端の細い金具を使いヘアピンを外へ押し出します。
 - ②手順①を繰り返すと1つのコマが取り外せます。
 - ③ベルトが適切な長さになる様に不要な数のコマを取り外します。その後取り外したヘアピンを再びはめてベルトを固定します。(手順①および③を行う際、ヘアピンは必ず頭側から押しして下さい。先端側に必要以上の力をかけると壊れる可能性があります。)
- ※表記してあるサイズ調整および構造が違うものなど、ご自身で出来ない場合は、販売店もしくは弊社サービスセンターまでご依頼下さい。

板パネタイプ

- ①穴に金具の先端をしっかりと差し込んだ後、金具を矢印の方向へずらし、中板の先端をコマから出します。
※この時にけがには十分にご注意下さい。



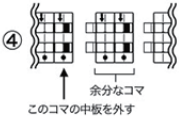
- ②出てきた中板の先端をベンチでつかみ、そのまま引き抜きます。



- ③コマとコマの連結を外します。
※ベルトを外側へ向けて折りながらスライドさせると簡単に外れます。



- ④①～③の手順で余分なコマを外します。



- ⑤コマとコマを連結させ、中板を差し込み固定します。
※差し込みが不十分で、中板の先端がコマからでているとけがの原因となりますので、最後まで中板をコマへ差し込んで下さい。

